

株主の皆様へ

第53期 2015年4月 1日
2015年9月30日
上半期報告書

日本空調サービス株式会社

経営理念

日本空調グループは、

**お客様に安心感を与える最適な環境を維持するために、
技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供する**

という経営理念を全社員が共有し、一丸となってお客様の満足度のより一層の向上を追求しております。

1964年の設立以来、建物設備メンテナンスに携わる独立系企業グループとして、
故障・事故を未然に防ぐ「予防保全」の概念を事業化し、空調のみにとどまらず、
電気、給排水、衛生等を含めた建物の設備システム全般を対象として
ビジネスモデルを構築してまいりました。

これからも、建物設備のメンテナンスサービスを通じて、

建築物に要求される最適な環境を実現する

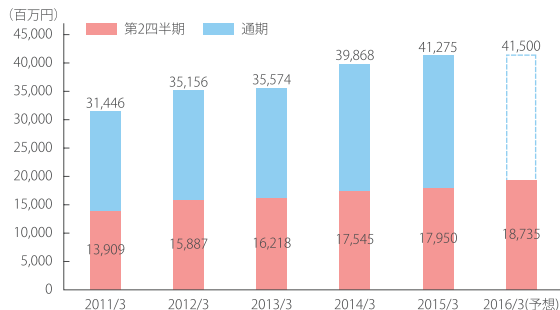
「環境創生企業」として社会に貢献することが、

私たち日本空調グループの

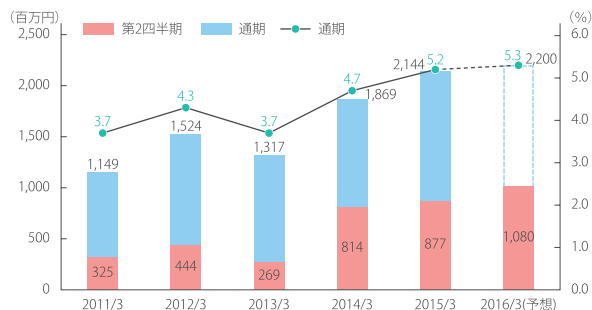
使命であると考えております。

● 連結経営成績

売上高



営業利益・営業利益率



株主の皆様へ

日本から世界へ、アジアを中心とした
海外展開を加速させ、
10年、20年後を見据えた
新たな基盤づくりを進めます。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに当社第53期上半期(2015年4月1日から2015年9月30日)における
営業の概況ならびに決算の内容等につきましてご報告申し上げます。
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解と
ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

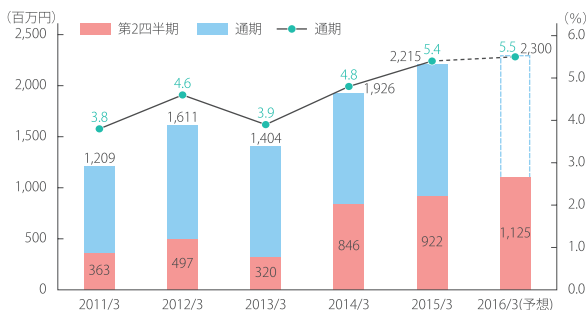
2015年11月

代表取締役社長

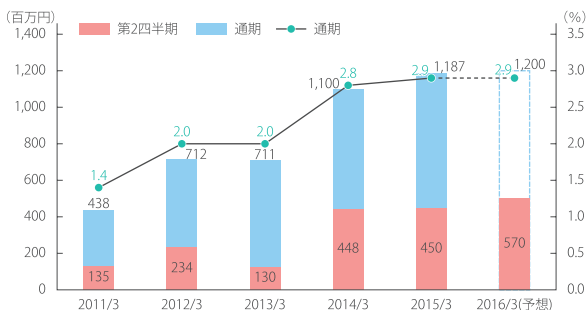
橋本 東海男



経常利益・経常利益率



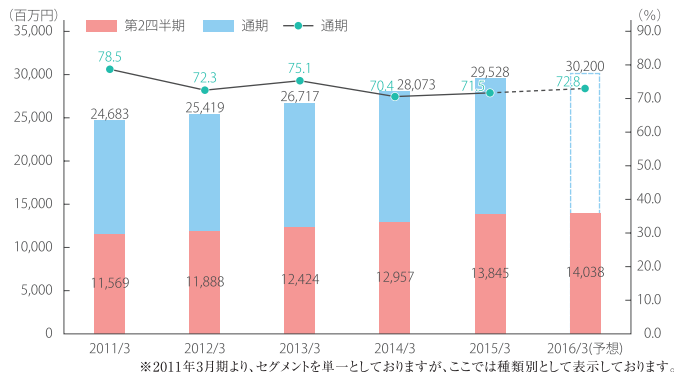
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益率



連結財務・非財務ハイライト

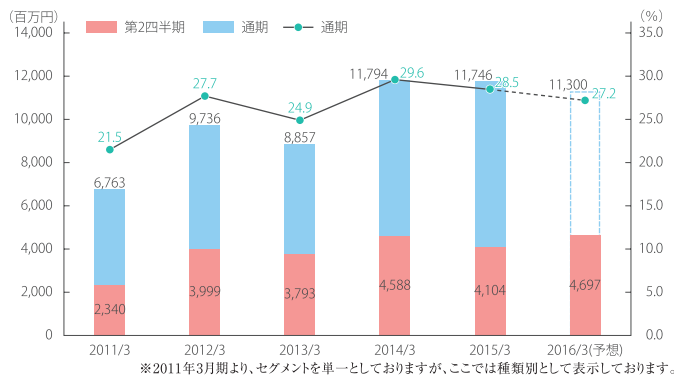
メンテナンスサービス売上高・メンテナンスサービス売上比率

大型病院の統括管理業務1件を新規受託したことや製造工場等におけるスポットメンテナンスの増加等により、当上半期のメンテナンスサービス売上高は14,038百万円(前年同期比192百万円増・1.4%増)、連結売上高に占めるメンテナンスサービス売上高の割合は74.9%となりました。



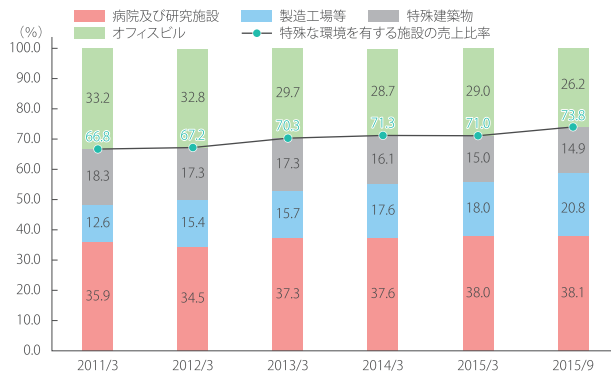
リニューアル工事完成工事高・リニューアル工事売上比率

主に北陸エリアの子会社(株日本空調北陸)での太陽光パネル設置業務の増加等により、当上半期のリニューアル工事完成工事高は4,697百万円(同592百万円増・14.4%増)、連結売上高に占めるリニューアル工事完成工事高の割合は25.1%となりました。



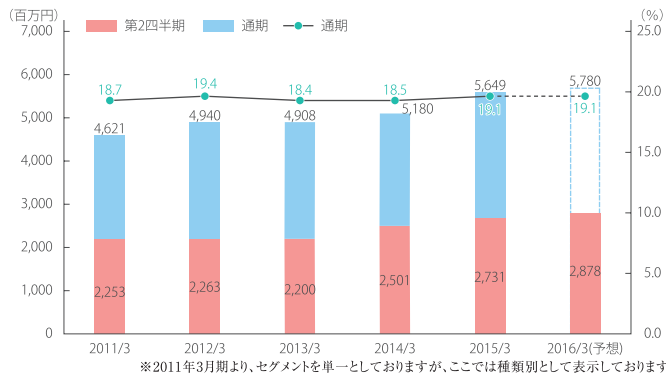
受託施設別売上構成

当社グループの高度な技術力を最大限に発揮できる特殊な空間を有する施設(病院及び研究施設、製造工場等、特殊建築物)に傾注してきた結果、当上半期の受託施設別売上構成に占める同施設の比率は73.8%まで上昇しました。



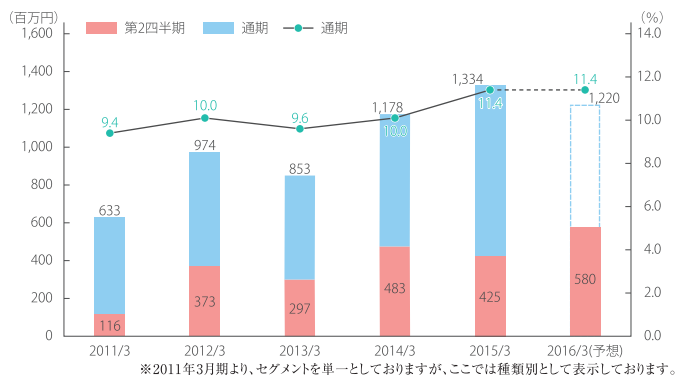
メンテナンスサービス売上総利益・ メンテナンスサービス売上総利益率

統括管理業務やスポットメンテナンス等の採算性向上等により、当上半期のメンテナンスサービス売上総利益は2,878百万円(同146百万円増・5.4%増)、同売上総利益率は20.5%(同0.8%ポイント増)となりました。



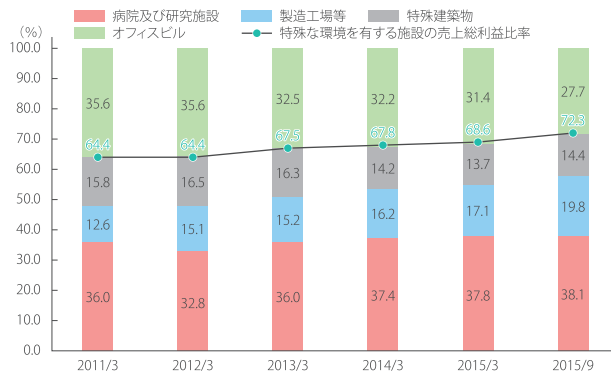
リニューアル工事売上総利益・ リニューアル工事売上総利益率

中国の子会社(蘇州日空山陽機電技術有限公司)におけるリニューアル工事の利益率向上等により、当上半期のリニューアル工事売上総利益は580百万円(同154百万円増・36.3%増)、同売上総利益率は12.4%(同2.0%ポイント増)となりました。

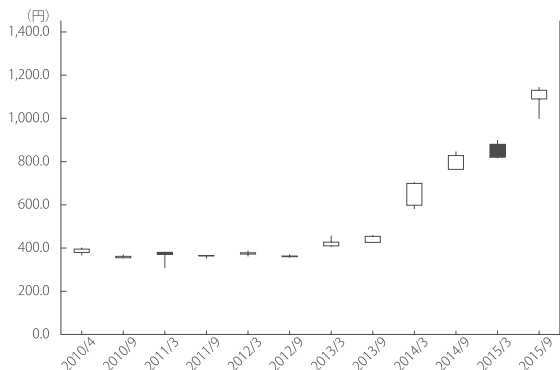


受託施設別売上総利益構成

受託施設別売上構成と同様に、同売上総利益構成においても当社の高品質サービスをご評価いただける特殊な環境を有する施設の占める割合が大きくなっています。当上半期の受託施設別売上総利益構成に占める同施設の比率は72.3%まで上昇しました。

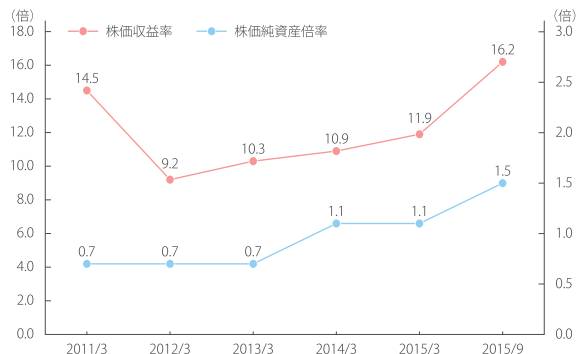


株価



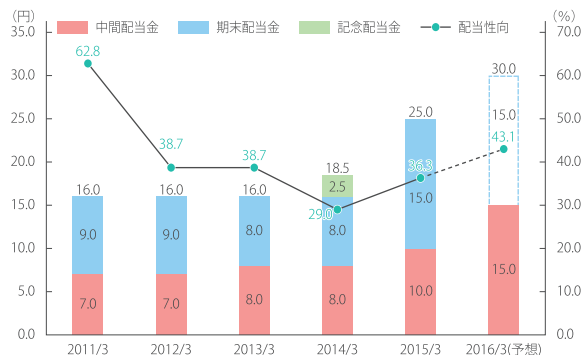
※2014年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
 ※2014年3月期以前の株価につきましては、上記株式分割を調整した金額としております。

株価収益率・株価純資産倍率



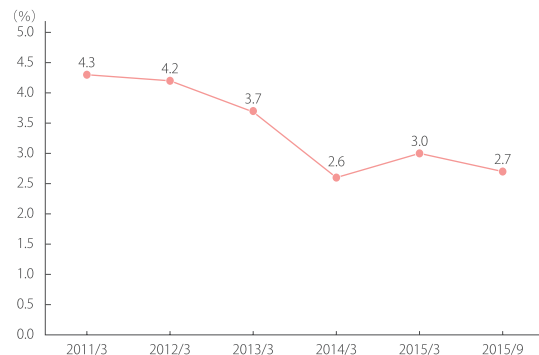
※2015年9月末の株価収益率につきましては、2016年3月期の1株当たり当期純利益(予想)で算出しております。
 ※2015年9月末の株価純資産倍率につきましては、2015年3月期の1株当たり純資産(実績)で算出しております。

1株当たり配当金・配当性向



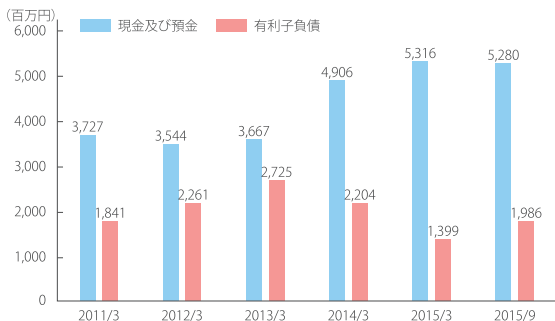
※2014年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
 ※2014年3月期以前の1株当たり配当金につきましては、上記株式分割を調整した金額としております。

配当利回り

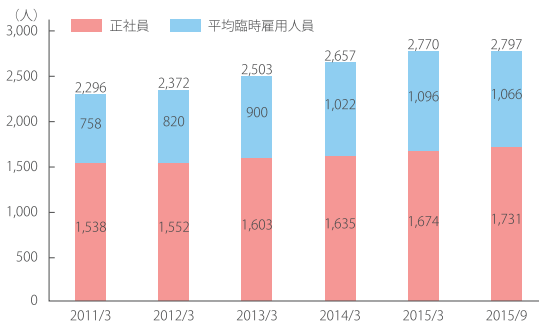


※2015年9月末の配当利回りにつきましては、2016年3月期の1株当たり配当金(予想)で算出しております。

財務状況



従業員数



Special Talk Session



海外部長

船橋 香織

対談

代表取締役社長

橋本 東海男

現地の人々の幸せを真摯に求めること。
海外進出を成功させる秘訣について語る。

いよいよ本格化したバングラデシュへの事業進出。この一大転機に秘めた狙いと成功させるための秘訣について、代表取締役社長 橋本 東海男と海外部長 船橋 香織がトークセッションを繰り広げました。

目先の利益ではなく
現地の人々の幸せを
求めることが大切。

——まずは、海外で事業を展開するに至った経緯についてお聞かせください。

橋本：1964年の創業以来、弊社は3つの夢を抱き続けてきました。ひとつは東証に上場すること、もうひとつは国内の中規模以上の全都市に拠点を置くこと、そして最後のひとつは海外で事業を展開すること。中国に進出したのは1999年のことですから、35年目にしてようやく念願を叶えられたわけです。

船橋：社長は中国事業の立ち上げメンバーの一人でしたね。当事者のひとりとして、海外進出についてどのように感じておられたのですか？



橋本：当時はまだ第二次天安門事件の記憶が冷めやらぬ時期であり、社内外から反対の声が多く寄せられました。正直、私も上手くいかどうか不安でしたが、創業者には未来が見えていたのでしょう。現在、数ある子会社の中でも、中国の有限公司はトップクラスの利益率を誇っていますから。

——海外で成功するための秘訣はあるのでしょうか？

橋本：秘訣と言えるかどうか分かりませんが、何より大切なのは「本気」で取り組むことです。ここで言う「本気」とは、現地の人々の「幸せ」を真摯に求めること。それを叶

えられれば、自然と利益は上がってきます。では、「幸せ」とはどのような時に感じられるのか。人それぞれではありますが、やりがいのある仕事に就き、自分の望む生き方ができている時にこそ感じるものではないでしょうか。私たちは、国内はもちろん海外においても、そのような「幸せ」を「本気」で広めていきたいと考えています。

船橋：バングラデシュの現地雇用社員たちにも、そのような「本気」は伝わっていると思います。現在、日本で研修を受けさせているのですが、日本語については今年の夏に日本の社員たちが講師となって、バ



ングラデシュで直接レクチャーして
いたんです。始めるまでは効果が
上がるか不安でしたが、同じ時間
を過ごすほどに国籍を超えた絆が
生まれ、日本語だけでなく社風やス
ピリットまでも伝えられたと実感して
います。彼らとそのスピリットを胸
に、それぞれの「幸せ」を掴んでく
れたらうれしいですね。

橋本: その通りです。だから、目先
の利益だけを求めるのではなく、
もっと広い視点で仕事を見つめな
ければいけません。上場企業の目
的というのは、取り巻く人々の「幸
せ」を求めることであり、そのための
手段として利益追求がある。これは

私の仕事の哲学といえるものです。

バングラデシュは 東南アジアに残された 最後のフロンティア。

—— 中国に続いてバングラデ
シュに進出しようと決めた理由に
ついてお聞かせください。

橋本: バングラデシュは東南アジア
の中でも最貧に近い開発途上国
です。そのため、「なぜバングラデ
シュに進出なのか」という声も聞
えてきます。しかし、私は逆に聞
きたい。なぜバングラデシュではい
けないのか、と。現在、確かにあの国
は貧しいですが、見方を変えれ

ば、それは発展していく道しかな
いということです。

船橋: 現地に足を運んでいる身とし
て、私もそのことを実感しています。
道路と地下鉄の開発が急ピッチで
進められており、日ごとに住みやす
い街へと成長しているんです。

橋本: 20年前の上海も同じでした。
インフラが行き届いておらず、
いつも大渋滞で人もモノも動かな
かった。しかし、今や世界有数の
近代都市へと発展を遂げていま
す。バングラデシュにもそのチャン
スがあります。また、もうひとつの理
由として、日本の企業がまだほとん
ど進出していないということが挙
げられます。弊社の伝統的気質と
して、誰かのマネをするのではな
く、フロンティアでありたいとい
うことがあります。そういう意味にお
いても、バングラデシュは絶対に外
せない選択でした。

船橋：現在はまだ参入する外国企業も多くないので、国も好意的に受け入れてくれているようです。それはすなわち、私たちの望む構図をつくりやすいということ。きっと7～8年後には医療や電気化学、製薬業界なども進出してくるでしょう。その時に備え、今のうちに地盤を固めておきたいと考えています。

視野をさらに広げて 世界中で活躍する 多国籍な企業へ。

——海外事業における今後の 展望をお聞かせください

橋本：実は現在、バングラデシュ以外にも複数の国への進出計画が進行中であり、遠くないうちに皆様に公開させていただくつもりです。人口減少に伴って市場も縮小傾向にある日本に留まらず、広く世界に目を向けることが大切だと考えています。といっても、海外に出向いてすぐに利益を上げようとは思っておりません。先ほども申し上げた通り、現地の人々を「幸せ」にするためのスケジュールを第一に考え、その先で成功を掴むことを目指しています。

船橋：バングラデシュをはじめとす



る開発途上国には、空調機器メンテナンスの必要性が理解されていない国も多々あります。私たちの仕事の価値をゼロから浸透させるには、相応の時間と努力が必要ということです。しかし、だからこそやりがいがあると言えます。持ち前のフロンティア精神で、じっくりと市場を耕していきたいと思っています。

橋本：ご存知の通り、日本のサービス業のクオリティは世界でもトップレベルです。この国で半世紀以上にわたって培ったノウハウは、世界という大きな市場でも武器になると確信しています。私たちのこれからの活躍にどうかご期待ください。

当社グループの海外事業の歩み

- 1999.01 ● 中国江蘇省蘇州市に蘇州日空山陽機電技術有限公司を設立
- 2001.05 ● 中国上海市に上海分公司を開設
- 2005.09 ● 中国無錫市に無錫分公司を開設
- 2009.07 ● 中国杭州経済技術開発区に杭州分公司を開設
- 2011.10 ● 中国上海市に上海日空山陽国際貿易有限公司を設立
- 2015.04 ● 中国南通市に南通分公司を開設
- 2015.08 ● バングラデシュダッカ市にNACS BD Co., Ltd.を設立

2013中期5ヵ年経営計画

当社グループが持続的な成長を実現するための経営戦略、数値目標を明確に示した将来展望として、2018年3月期を最終年度とする「2013中期5ヵ年経営計画」を策定しております。

当期は同計画における数値目標を2年前倒しで達成させる見込みです。また、営業拠点網の拡充として、国内では2015年4月に四国エリア本格進出となる子会社(日本空調四国株式会社)を設立しました。海外では同4月に中国の子会社(蘇州日空山陽機電技術有限公司)の新拠点となる南通分公司を開設、同8月にはバングラデシュに子会社(NACS BD Co., Ltd.)を設立いたしました。同計画の数値目標前倒し達成を目指すと同時に、未来を見据えた一層の国内基盤強化と新たな海外戦略の推進、株主の皆様への還元充実を確実に実行し、当社グループの企業価値を最大化させることで今後もステークホルダーの皆様のご幸せを追求してまいります。

最終年度2018年3月期までに…

2016年3月期
達成見込み

連結
売上高

415億円

連結
営業利益

22億円突破!

2016年3月期
第2四半期

73.8%

特殊な環境を
有する施設の

売上比率 75%以上!

2015年3月期

43.1%

連結配当性向 50%!

2015年9月末
現在

あと4県

全都道府県に営業拠点網展開!

連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2015年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,316	5,280
受取手形・完成工事未収入金等	11,087	8,436
電子記録債権	129	154
たな卸資産	371	1,126
その他	840	955
貸倒引当金	△17	△13
流動資産合計	17,728	15,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,172	3,118
土地	4,102	4,102
建設仮勘定	2	304
その他(純額)	628	643
有形固定資産合計	7,905	8,169
無形固定資産		
ソフトウェア	93	82
その他	57	68
無形固定資産合計	150	150
投資その他の資産		
投資有価証券	2,696	2,403
その他	298	343
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	2,985	2,737
固定資産合計	11,041	11,057
資産合計	28,769	26,998

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2015年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,663	4,227
電子記録債務	531	1,633
短期借入金	93	716
1年内返済予定の長期借入金	405	409
未払金	1,730	80
未払費用	1,505	1,317
未払法人税等	443	468
受注損失引当金	48	63
役員賞与引当金	37	-
その他	1,073	768
流動負債合計	11,532	9,685
固定負債		
長期借入金	900	860
役員退職慰労引当金	325	282
執行役員退職慰労引当金	6	8
退職給付に係る負債	1,579	1,574
資産除去債務	12	12
その他	126	39
固定負債合計	2,950	2,779
負債合計	14,483	12,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,139	1,139
資本剰余金	1,173	1,175
利益剰余金	10,221	10,530
自己株式	△660	△653
株主資本合計	11,873	12,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,136	934
為替換算調整勘定	60	67
退職給付に係る調整累計額	△350	△330
その他の包括利益累計額合計	846	672
新株予約権	91	99
非支配株主持分	1,473	1,570
純資産合計	14,286	14,534
負債純資産合計	28,769	26,998

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自2014年4月1日 至2014年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2015年4月1日 至2015年9月30日)
売上高	17,950	18,735
売上原価	14,793	15,277
売上総利益	3,157	3,458
販売費及び一般管理費	2,279	2,378
営業利益	877	1,080
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	17	27
保険配当金	23	11
受取保険金	-	4
その他	15	8
営業外収益合計	58	54
営業外費用		
支払利息	8	8
減価償却費	2	-
その他	2	0
営業外費用合計	13	9
経常利益	922	1,125
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	-	7
退職給付引当金戻入額	-	40
特別利益合計	0	48
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	0
減損損失	59	-
その他	-	0
特別損失合計	59	0
税金等調整前四半期純利益	863	1,173
法人税等	340	460
四半期純利益	522	713
非支配株主に帰属する四半期純利益	72	142
親会社株主に帰属する四半期純利益	450	570

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自2014年4月1日 至2014年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2015年4月1日 至2015年9月30日)
四半期純利益	522	713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	154	△204
為替換算調整勘定	△7	8
退職給付に係る調整額	17	19
その他の包括利益合計	163	△175
四半期包括利益	686	537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	613	395
非支配株主に係る四半期包括利益	73	141

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

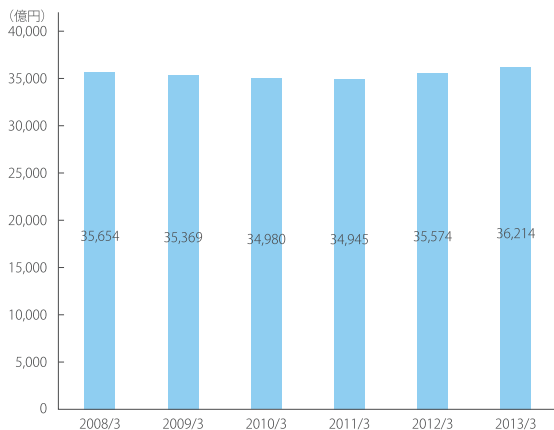
(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自2014年4月1日 至2014年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2015年4月1日 至2015年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	360	118
投資活動によるキャッシュ・フロー	△207	△509
財務活動によるキャッシュ・フロー	△753	284
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△6	4
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△607	△101
現金及び現金同等物の期首残高	4,352	4,900
現金及び現金同等物の 四半期末残高	3,745	4,798

市場データ・株式情報

(2015年9月30日現在)

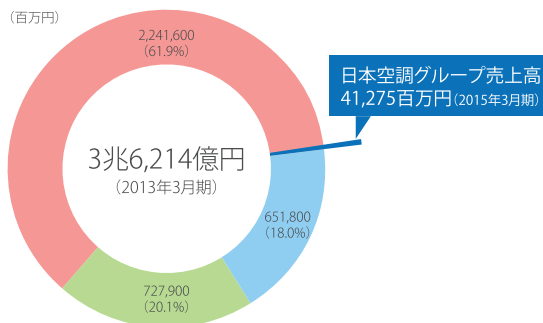
●ビルメンテナンス業界市場規模



※全国ビルメンテナンス協会「実態調査」よりの推計値(2013年)から計算しております。

●業種内容別売上構成

■ 一般清掃 ■ 設備管理 ■ 保安警備他
()内は構成比



業界の特徴

- 当社は設備管理業務の約6%を占める
- 大小様々な会社がひしめく非寡占業界

● 発行可能株式総数 36,000,000株

● 発行済株式総数 19,892,000株

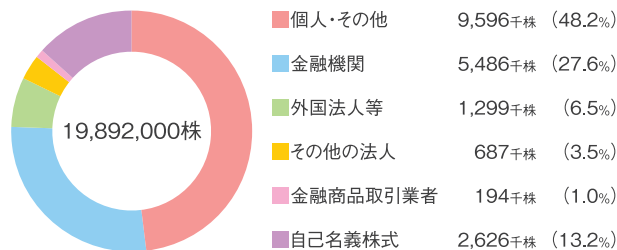
● 株主数 3,978名

●大株主の状況

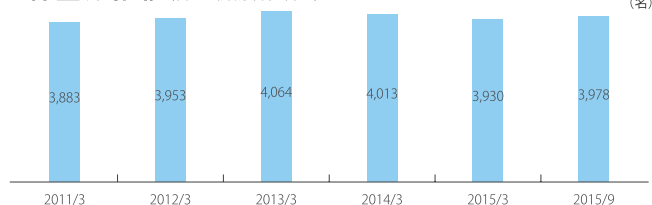
株主名	持株数(千株)
日本空調サービス従業員持株会	1,551
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,117
株式会社三菱東京UFJ銀行	820
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	749
株式会社愛知銀行	668
東京海上日動火災保険株式会社	564
岐阜信用金庫	400
CBLDN KIA FUND 136	345
林和子	331
岡地修	289

※当社は自己株式(2,626千株)を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

●所有者別株式分布状況



●株主数推移 (自己・機構名義含む)



会社概要

(2015年9月30日現在)

- **商号** 日本空調サービス株式会社
Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.
- **住所** 〒465-0042
愛知県名古屋市長久区照が丘239番2
- **T E L** 052-773-2511 (代表)
- **設立** 1964年(昭和39年)4月28日
- **資本金** 1,139,575千円
- **従業員数** 985名

役員

取締役			
代表取締役社長	橋本	東海	男
取締役	草野	幸士	二
取締役	田中	洋二	司
取締役	中町	博	夫
取締役	景山	龍夫	男
取締役	森田	尚	男

監査役			
常勤監査役	渡邊	資史	史
監査役	杉山	文典	久
監査役	佐伯	典久	実
監査役	寺澤		

- (注) 1. 取締役 草野幸士及び田中洋二は、執行役員を兼務しております。
 2. 取締役 景山龍夫氏及び森田尚男氏は、社外取締役です。
 3. 取締役 景山龍夫氏及び森田尚男氏は、東京証券取引所及び名古屋証券取引所に独立役員として届け出ております。

- (注) 1. 監査役 佐伯典久氏及び寺澤実氏は、社外監査役です。
 2. 監査役 佐伯典久氏及び寺澤実氏は、東京証券取引所及び名古屋証券取引所に独立役員として届け出ております。

執行役員			
執行役員	中村	秀一	
執行役員	中司	等	
執行役員	藤岡	克己	
執行役員	花田	良徳	

執行役員			
執行役員	草野	幸士	二
執行役員	田中	洋二	明
執行役員	依藤	敏	臣
執行役員	松本	恒	

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.nikkei.co.jp (ただし、電子公告によることのできない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

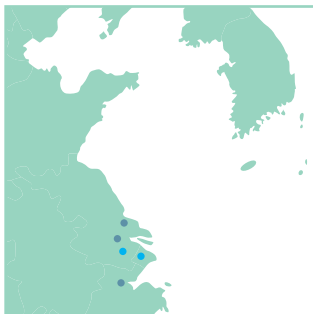
(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

日本空調サービス(株) 本社・支店・営業所: **49** 拠点

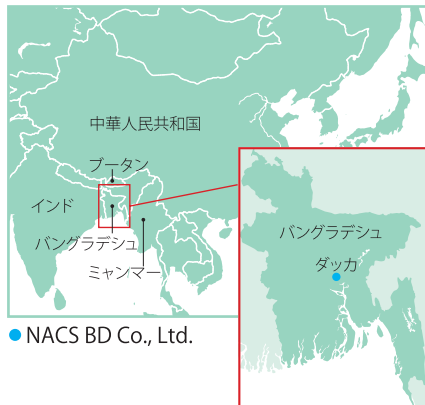
グループ会社 国内11社: **38** 拠点 / 海外3社: **6** 拠点

中華人民共和国



- 蘇州日空山陽機電技術有限公司
- 上海日空山陽国際貿易有限公司

Bangladesh 人民共和国



- NACS BD Co., Ltd.

- 日本空調サービス(株)
- (株)日本空調三重
- (株)日本空調北陸
- (株)日本空調東海
- 東日本空調管理(株)
- イーテック・ジャパン(株)
- 日本空調システム(株)
- (株)日本空調岐阜
- (株)日本空調東北
- 西日本空調管理(株)
- 日空ビジネスサービス(株)
- 日本空調四国(株)

※拠点数につきましては、2015年9月30日現在で表記しております。